

事業所における自己評価結果（公表） — 放課後等デイサービス — （平成30年度）

スタッフ4名



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	記入なし	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				利用者の状況に合わせ、ベッドや休憩スペースなど確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3		1		利用者の状況により不足感を感じることもあるが、配置数は適正である。対応を考慮する。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4				車いすでの移動が多いので、バリアフリー化されている。歩行される方が安全に歩行できるように物品の位置など工夫している。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1		1	毎日カンファレンスを行い対応している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2			アンケートは実施したが、今後、改善計画を今後進めていく必要がある。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページなどで公開しているか			4		今後検討する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2		
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	1	2		研修の機会を確保して参加できるようにする。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2			ニーズは聞いているが、客観的分析が不十分と思われるため、アセスメントツールを検討する。
	⑩	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		2	2		メバの活用を検討している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1			週2回のカンファレンスの中で検討している。
	⑫	活動プログラムを固定化しないように、工夫しているか	1	3			パターン化している活動があるので、周りの意見を取り入れながら工夫する。新しい利用者や職員はいいが、長年利用されている方たちには工夫していなければいけない。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して援助しているか		1	3		土曜日のみの利用であるため、特にそれに応じた設定はしていない。状況に合わせて配慮していく。
	⑭	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動をを適宜組み合わせ放課後デイサービスの計画を作成しているか	2	1	1		週案や個別支援計画の中で計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気づいた点等共有しているか	3	1			朝のカンファレンス時にその日の打ち合わせを行う。
	⑯	支援終了後には、職員間でかならず打ち合わせをし、その日に行われて支援の振り返りを行い気づいた点を共有しているか	1	3			週2回のカンファレンスのみで毎日の打ち合わせは行っていない。問題があった場合は改善策を検討したり決めたりして、報告共有できるようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1			記録は連絡帳のみで、書き方の統一はない。福祉カルテシステムとなり、今後書き方を検討していく。
	⑱	定期的に、モニタリングを行い、放課後デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	2	1		定期的にモニタリングを実施している。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1		2	1	基本的な活動は行っている。ガイドラインを読み合わせ徹底していく。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	2	1	1	代表者が参加している。担当者も参加できるようにする。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定などの交換、子供の下校時刻の確認など）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	0	2	保護者との連絡を通している。
	㉒	医療的ケア必要な子供を受け入れる場合は、子供主治医等と連絡体制を整えているか	2	1	1	保護者を通している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に行っているか努めているか	1	1	2	同じ施設なので児童発達支援との情報交換は行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまで支援内容等の情報を提供する等しているか			4	学校の実習に協力している。担当者会議に出席している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			4	研修参加を検討していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館世の交流や、障害のない子供と活動する機会があるか		1	3	交流の機会がないので検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		1	3	代表者が参加している。
	㉘	日ごろから子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		1	面談やモニタリングを通して利用者の状況や課題について話している。
保護者への説明責任など	㉙	保育者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか			4	今後は支援を検討していく。
	㊳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	1	1	今後行っていく予定。
	㊴	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか		4		面談の機会や保護者の送迎の間に時間を設けたりしている。
	㊵	父母の会の活動を支援したり、保護者回答を主催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか		2	2	現在センター内には父母の会はない。保護者懇談会を年1回開催している
	㊶	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を調節するとともに、子供や保護者に周知し、苦情あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1	1	苦情に対しては早期に解決できるように担当が保護者と話し、カンファレンスで対応策を協議している。
	㊷	定期的に会報を発行し、活動外用や行事予定連絡体制等の情報を子供たちや保護者に対して発信しているか	3		1	3カ月ごとにセンターだよりを発行している。
	㊸	個人情報に十分注意しているか	4			
	㊹	子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2		連絡帳のやり取りを行っている。保護者の方が送迎されるので、話を聞く機会を設けている。
	㊺	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	1	秋祭り時、近隣の大学などへ出演の依頼をし、参加していただいている。
非常時等の対応	㊻	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	1	マニュアルはあるが保護者への周知はされていない。今後、保護者への周知をしていく。
	㊼	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	1	施設内の定期的な防災訓練に参加している。
	㊽	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応に対応しているか	4			施設内で研修会が開催され全員参加している。
	㊾	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分説明し理解を得たうえで、放課後デイサービス計画に記載しているか	4			車いすの拘束についてどうするのか検討している。拘束する場合は保護者から了解を得て行っている。
	㊿	食物アレルギーのある子供について、医師の指示書にもとづく対応がされているか	1	1	2	保護者（母親）からの情報のみ。今後、事例があれば対応していく。
	㊿	ヒアリング事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			ヒアリングの事例については書類を提出し、カンファレンスで報告している。